

1 星座と星

- (①) … ^{みづか}自ら ^{かがや}光り輝く星
- 星座は全天にあり, 日本では約 (②)) を見ることができる
- 明るさにより 1 等星から 6 等星まであり, 1 等級あがると明るさは約 (③)) 倍になる
- 1 等星は (④)) 個ある
- 1 等星の明るさは 6 等星の (⑤)) 倍になる
- 恒星の色のちがいは (⑥)) で決まる
- 表面温度が高いと (⑦)) に, 低いと () になる

星の名前	色
スピカ・リゲル	⑧
シリウス	⑨
太陽・カペラ	⑩
アルクトゥルス・アルデバラン	⑪
アンタレス・ベテルギウス	⑫

2 四季の星座

春の大三角

- うしかい座… (①))
- おとめ座 … (②))
- しし座 … (③))
- ※北の空では (④)) が見やすい位置にある

夏の大三角

はくちょう座… (⑤)

わし座 … (⑥)

こと座 … (⑦)

※南の空にはS字形の (⑧) が見えアンタレスが赤く光っている

秋の四辺形

ペガサス座とアンドロメダ座の一部で秋の四辺形が見える

※北の空にはW (M) 字形の (⑨) が見える

冬の大三角

こいぬ座 … (⑩)

おおいぬ座… (⑪)

オリオン座… (⑫)

3 星の日周運動

○恒星は東から西へ1時間に約 (①) 度ずつ動いて見える

(計算) ② _____

○この見かけの動きを (③) という

→原因：地球が自転しているから

○北の空の恒星は (④) を中心に (⑤) に回って見える

4 星の年周運動

○恒星は東から西へ1日に約 (①) ずつ動いて見える

○この見かけの動きを (②) という

→原因：地球が太陽を中心に公転しているから

○北の空に見える星は同じ時刻に見たとき、

北極星を中心に1か月で約 (③) 度 (④) に回って見える

(計算) ⑤ _____

5 星座早見

○星座早見は(①)と(②)を重ね合わせてできている

○星座早見の中心には(③)がある

○(④)が手前になるように持ち、頭上にかかげて観察する